

- Autism Dev Disord, (e-pub), 2006.
- 于曉輝、太田昌孝：改訂小児行動質問票を用いた中国と日本の自閉症圏障害の子どもとの症状比較. 学校教育学研究論集、東京学芸大学大学院、連合学校教育学研究科 14 ; 13~21、2006.
- 小石誠二、杉山登志郎：アスペルガー症候群の依存症と鑑別診断. 精神科 5(1) ; 19 ~ 24、2004.
- 是枝喜代治、小林芳文、太田昌孝：自閉症児の運動模倣能力の特性. 発達障害研究 25(4) ; 265 ~ 280、2004.
- Kubota Y., Toichi M., Shimizu M., Mason R. A., Findling R.L., Yamamoto K., Calabrese J.R.: Prefrontal hemodynamic activity predicts false memory — a near-infrared spectroscopy study. *Neuroimage* 31; 1783 ~ 1789, 2006.
- 松浦直巳、橋本俊顕、十一元三：少年院在院生における認知特性の調査. LD 研究 16 ; 95 ~ 105、2007.
- 松浦直巳、橋本俊顕、十一元三：少年院におけるLD、AD/HDスクリーニングテストと逆境的児童期体験(児童虐待を含む)に関する調査—発達精神病理学的視点に基づく非行のリスクファクター. 児童青年精神医学とその近接領域 48 ; 2007(印刷中).
- 中村和彦：発達障害の生物学的精神医学への誘い(4)、アスペハート Vol.6 ; 82 ~ 84、2004.
- 中村和彦：発達障害の生物学的精神医学への誘い(5)、アスペハート Vol.7 ; 93 ~ 95、2004.
- 中村和彦：発達障害の生物学的精神医学への誘い(6)、アスペハート Vol.9 ; 88 ~ 90、2005.
- 中村和彦：発達障害の生物学的精神医学への誘い(7)、アスペハート Vol.10 ; 89 ~ 96、2005.
- 中村和彦：発達障害の生物学的精神医学への誘い(8)、アスペハート Vol.11 ; 81 ~ 87、2005.
- Nakamura K., Hattori N., Asada T., Mizun Y., Mori N., Yoshikawa T.: Genetic association analyses of PHOX2B and ASCL1 in neuropsychiatric disorders: evidence for association of ASCL1 with Parkinson's disease. *Human Genetics* 117; 520 ~ 527, 2005.
- 中村和彦：発達障害の生物学的精神医学への誘い(9)、アスペハート Vol.12 ; 106 ~ 107、2006.
- 名川 勝、佐藤彰一、堀江まゆみ：知的障害者の消費生活トラブルとその支援に関する研究. 日本消費者教育学会第24回大会研究発表要旨集、18、京都教育大学、2004.
- 永井洋子、太田昌孝：太田ステージと認知発達治療. *医学のあゆみ* 217(10) ; 990 ~ 996、2006.
- 並木典子、杉山登志郎：広汎性発達障害スクリーニング. *小児科* 45(11) ; 1980 ~ 1988、2004.
- 並木典子、杉山登志郎：高機能広汎性発達障害にみられる気分障害に関する臨床的研究. *小児の精神と神経* 46(4) ; 257 ~ 263、2006
- Nishimura K., Nakamura K., Anitha A., Yamada K., Tsujii M., Iwayama Y., Hattori E., Toyota T., Takei N., Miyachi T., Iwata Y., Suzuki K., Matsuzaki H., Kawai M., Sekine Y., Tsuchiya K., Sugihara G., Suda S., Ouchi Y., Sugiyama T., Yoshikawa T., Mori N.: Genetic analyses of the brain-derived neurotrophic factor (BDNF) gene in autism. *Biochem Biophys Res Commun.* 356; 200 ~ 206, 2007.
- 荻原はるみ、高橋 脩：超早期療育を行った自閉症児の発達経過と特徴について. 児童青年精神医学とその近接領域 44(3) ; 305 ~ 320、2003.
- Ogiwara H., Takahashi O.: The development and characteristics of children receiving very early intervention. *Japanese Journal of Child and Adolescent Psychiatry*, 46(Supplement); 40 ~ 60, 2005.
- Ohta M. & Kano Y.: Clinical characteristics of adult patients with tics and/or Tourette's syndrome. *Brain & Development* 25 Suppl. 1; S32 ~ S36, 2003.
- 太田昌孝、金生由紀子、永井洋子：思春期青年期の自閉症障害を持つ個人におけるカタトニアの症状—主として長期経過について—. 東京学芸大学特殊教育研究施設研究報告 3 ; 81 ~ 88、2004.
- 太田昌孝：自閉症圏障害の発達精神病理と表象機能. *小児の精神と神経* 44(4) ; 337 ~ 347、2004.
- 太田昌孝：運動機能の特異的発達障害. 新精神科治療ガイドライン 20 (増刊号) ; 266 ~ 267、2005.
- 太田昌孝：アスペルガー症候群. *日本医師会雑誌* 134(9) ; 1756 ~ 1757、2005.
- 太田昌孝：発達障害を持つ子どもの認知発達について—自閉症における太田 stage 分けと関連して—. *日本重症心身障害学会誌* 31 ; 21 ~ 26、2006.
- 岡田 俊、十一元三：強迫症状の発現における前頭葉の役割. 強迫性障害の研究 6 ; 97 ~ 104、2005.
- 岡田 俊、十一元三：広汎性発達障害の認知と行動特性. *精神認知 OT* 4 ; 2006 (印刷中).
- Okada T., Sato W., Toichi M. : Right hemis-

- pheric dominance in gaze-triggered reflexive shift of attention in humans. *Brain Cogn* 62; 128~133, 2006.
- Okada K., Hashimoto K., Iwata Y., Nakamura K., Tsujii M., Tsuchiya K.J., Sekine Y., Suda S., Suzuki K., Sugihara G.I., Matsuzaki H., Sugiyama T., Kawai M., Minabe Y., Takei N., Mori N.: Decreased serum levels of transforming growth factor-beta1 in patients with autism. *Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry* 31; 187~190, 2007.
- Sadakata T., Washida M., Iwayama Y., Shoji S., Sato Y., Ohkura T., Katoh S., Semba R., Nakajima M., Sekine Y., Tanaka M., Nakamura K., Iwata Y., Tsuchiya K.J., Mori N., Detera-Wadleigh S.D., Ichikawa H., Itohara S., Yoshikawa T., Furuichi T.: Autistic-like phenotypes in Cadps 2-knock-out mice and aberrant CADPS2 splicing in autistic patients. *J Clin Invest.* 117; 931~943, 2007.
- 佐藤彰一、堀江まゆみ、野沢和弘、名川勝：知的障害者の地域生活トラブル。日本法社会学会 2004 年度学術大会要旨集、15~18、立命館大学、2004.
- 佐藤彰一、名川勝、堀江まゆみ：発達障害者の消費生活トラブル-その実態と法的・生活的支援のあり方-。国民生活研究 44(4); 37~59、2005.
- 成基香、太田昌孝、小池敏英：LD 児における漢字書字困難と画要素の視覚記憶との関連について。学校教育学研究論集、東京学芸大学大学院、連合学校教育学研究科 13; 79~91、2006.
- Sekizawa T., Iwata Y., Nakamura K., Matsumoto H., Suzuki A., Suzuki K., Sekine Y., Takei T., Minabe Y., Mori N.: Childhood-onset schizophrenia and tryptophan hydroxylase gene polymorphism. *Am J Med Genet* 128B(1);24~26, 2004.
- 清水康夫、岩佐光章：地域の実践：LD/ADHD・高機能自閉症児等の子への支援。児童心理 59(9); 131~138, 2005.
- Shimizu M., Kubota Y., Calabrese JR., Toich M., Kato S., Baba H.: Analysis of delusional statements from 15 Japanese cases of 'Folie a Deux'. *Psychopathology* 39; 92~98, 2006.
- Shinohe A., Hashimoto K., Nakamura K., Tsujii M., Iwata Y., Tsuchiya K., Sekine Y., Takai Y., Suzuki K., Sugihara G., Minabe Y., Ouchi Y., Sugiyama T., Iyo M., Takei N., Mori N.: Increased serum levels of glutamate in adult patients with autism. *Prog Neuro-Psychoph.* 30; 1472~1477, 2006.
- 白瀧貞昭：アスペルガー症候群：思春期以降例の診断に必要な幼児期情報。精神科治療学 19(9); 1063~1067、2004.
- 白瀧貞昭：乳幼児期の発達、特集・自閉症理解の現在 - より進んだ地平を求めて -。こころの臨床アラカルテ 23; 273~276、2004.
- 白瀧貞昭：話し言葉と言語の特異的発達障害。精神科治療学 20 (増刊号); 262~263、2005.
- 白瀧貞昭：アスペルガー症候群（障害）は乳幼児期から判別できるか？ - 幼少時期における情報をどう活用するか。現代のエスプリ、アスペルガー症候群を究める I、464; 99~106、2006.
- Sugihara G., Hashimoto K., Iwata Y., Nakamura K., Tsujii M., Tsuchiya K.J., Sekine Y., Suzuki K., Suda S., Matsuzaki H., Kawai M., Minabe Y., Yagi A., Takei N., Sugiyama T., Mori N.: Decreased serum levels of hepatocyte growth factor in male adults with high-functioning autism. *Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry* 31; 412~415, 2007.
- 鈴木俊介、市川宏伸：強迫性障害・摂食障害・解離性障害。精神科 4; 49~52、2004.
- 杉山登志郎：高機能広汎性発達障害に見られるさまざまな精神医学的問題に関する臨床的研究。日本乳幼児医学・心理学研究 12(1); 11~25、2004.
- 杉山登志郎：自閉症・アスペルガー症候群。精神障害の臨床・特別号 131; 203~204、2004.
- 杉山登志郎、河邊眞千子：高機能広汎性発達障害青年の適応を決める要因。精神科治療学 19(9); 1093~1100、2004.
- 杉山登志郎：高機能自閉症とアスペルガー症候群 - 軽度発達障害によって変わる教育・福祉・医療。実践障害教育 8月号; 2~9、2004.
- 杉山登志郎：自閉症文化に沿った自閉症スペクトラムへの教育。発達の遅れと教育 2; 10~13、2004.
- 杉山登志郎：境界線知能。そだちの科学 3; 31~35、2004.
- 杉山登志郎：発達障害臨床の育児支援 - あいち小児センター心療科での取り組み -。乳幼児医学・心理学研究 13(1); 19~28、2004.
- 杉山登志郎：高機能広汎性発達障害に見られるさまざまな精神医学的問題に関する臨床的研究。日本乳幼児医学・心理学研究 12(1); 11~25、2004.
- 杉山登志郎、海野千敏子：医療機関における再統合に向けた援助。母子保健情報 50; 165~168、2005.

- 杉山登志郎、海野千畝子、河邊真千子：子ども虐待への包括的治療－3つの側面からのケアとサポート－. 児童青年精神医学とその近接領域 46(3)；296～306、2005.
- 杉山登志郎：自閉症臨床から. 小児の精神と神経 45(4)別冊；313～321、2005.
- 杉山登志郎：てんかんを併存し激しい行動障害を呈したADHDの1症例. 臨床精神薬理 8(6)；911～914、2005.
- 杉山登志郎：学童期における心と脳の発達. そだちの科学 4；6～13、2005.
- 杉山登志郎：アスペルガー症候群の現在. そだちの科学 5；9～21、2005.
- 杉山登志郎：発達障害と統合失調症. こころの科学 120；29～35、2005.
- 杉山登志郎：ひきこもりと高機能広汎性発達障害. こころの科学 123；36～43、2005.
- 杉山登志郎：子ども虐待と発達障害：第四の発達障害としての子ども虐待. 小児の精神と神経 46(1)；7～17、2006.
- 杉山登志郎：発達障害としての子ども虐待. 子どもの虐待とネグレクト 8(2)；202～212、2006.
- 杉山登志郎：虐待系の多動性障害とADHDの診断と治療. 臨床精神薬理 9(5)；252～255、2006.
- 杉山登志郎：ADHDと行為障害（非行）. そだちの科学 6；72～79、2006.
- 杉山登志郎、海野千畝子：精神療法によって愛着の修復は可能か？ そだちの科学 7；113～119、2006.
- 杉山登志郎：発達障害の理解と対応. 精神科看護 33；14～19、2006.
- Suzuki K., Hashimoto K., Iwata Y., Nakamura K., Tsujii M., Tsuchiya K., Sekine Y., Suda S., Sugihara G., Matsuzaki H., Sugiyama T., Kawai M., Minabe Y., Takei N., Mori N.: Decreased serum levels of epidermal growth factor in adult subjects with high-functioning autism. *Biological Psychiatry*, 2006 (in press)
- 高橋 脩：アスペルガー症候群・高機能自閉症：思春期以降における問題行動と対応. 精神科治療学 19；1077～1083、2004.
- 高橋 脩：地域療育システムにおける自閉症の診断と説明. 発達障害研究 26；153～163、2004.
- 高橋 脩：地域の療育力を考える. あおぞら2003（岐阜市発達相談センター事業報告書）、pp.56-78、2004.
- 高橋 脩：障害児の発達支援と家族支援：現状と展望. 児童青年精神医学とその近接領域 46(5)；473～477、2005.
- 高橋 脩：乳幼児健診と発達障害－最近の動向. こころの科学 124；18～21、2005.
- 高橋 脩：アスペルガー症候群の早期診断と対応. そだちの科学 5；22～28、2005.
- 高橋 脩：軽度発達障害の理解と支援－医療・療育の立場から. 地域と臨床 14；2～6、2005.
- 高橋 脩：障害児の発達支援と家族支援：現状と展望. 児童青年精神医学とその近接領域 46(5)；473～477、2005.
- 高橋 脩：自閉症とADHDの愛着の発達について. そだちの科学 7；66～70、2006.
- 高橋 脩：発達障害の児童精神科臨床. 児童青年精神医学とその近接領域 47；316～317、2006.
- 高橋 脩：軽度発達障害の早期診断と対応－高機能自閉症と注意欠陥多動性障害を中心に. 現代のエスプリ 476；40～45、2007.
- Takebayashi K., Sekine Y., Takei N., Minabe Y., Isoda H., Nishimura K., Nakamura K., Suzuki K., Iwata Y., Sakahara H., Mori N.: Metabolite alterations in basal ganglia associated with psychiatric symptoms of abstinent toluene users: a proton MRS study. *Neuropsychopharmacology* 29(5);1019～1026, 2004.
- Takei N., Nakamura K.: Is insemi-jisatsu, responsibility-driven suicide, culture-bound? *Lancet* 363(9418);1400, 2004.
- 立松英子、太田昌孝：知的障害の重い子どもの行動特徴－自閉症障害の合併およびシンボル機能の観点から－. 小児の精神と神経 44(4)；373～381、2004.
- 立松栄子、太田昌孝：知的障害養護学校での発達評価における簡易指標の意義の検討－自閉症様の行動障害との関連で－. 学校教育学研究論文 12；17～27、2005.
- 十一元三：広汎性発達障害の神経科学的基盤－扁桃体・辺縁系障害説を中心に. 実践障害児教育 32(2)；10～15、2004.
- 十一元三：高機能自閉症とアスペルガー障害. 障害者問題研究 32(2)；90～98、2004.
- 十一元三：アスペルガー障害の神経学的基盤. 精神科 5(1)；6～11、2004.
- 十一元三：青年期以降の高機能広汎性発達障害. 精神科臨床サービス 4(3)；332～338、2004.
- 十一元三：広汎性発達障害を持つ少年の鑑別・鑑定と司法処遇－精神科疾患概念の歴史的概観と現状の問題点を踏まえ－. 児童青年精神医学とその近接領域 45；236～245、2004.
- 十一元三：アスペルガー障害と社会行動用

- の問題. 精神科治療学 19 ; 1109 ~ 1114, 2004.
- 十一元三 : 広汎性発達障害における薬物療法. 精神科治療学 19 ; 1173 ~ 1178, 2004.
- 十一元三 : 特集にあたって - 近年の成果を混乱する現場へ -. こころの臨床アラカルト 23 ; 241 ~ 243, 2004.
- 十一元三 : 自閉症論の変遷. こころの臨床アラカルト 23 ; 261 ~ 265, 2004.
- 十一元三, Prizant B.M., Wetherby A.M., Rubin E., Laurent A.C. : 近年の発達論的療育プログラム. こころの臨床アラカルト 23 ; 317 ~ 320, 2004.
- 十一元三, 岡田 俊 : 脳血行動態からみた高機能自閉症の前頭前野機能. 脳と精神の医学 15 ; 361 ~ 369, 2004.
- Toichi M., Findling R.L., Kubota Y., Calabrese J.R., Wiznitzer M., McNamara N.K., Yamamoto K. : Hemodynamic differences in the activation of the prefrontal cortex: Attention vs. higher cognitive processing. Neuropsychologia 42 ; 698 ~ 706, 2004.
- 十一元三 : 広汎性発達障害を持つ少年の鑑別・鑑定と司法処遇. 児童青年精神医学とその近接領域 45 ; 236 ~ 245, 2005.
- 十一元三 : 自閉症の認知機能. 脳と精神の医学 16 ; 27 ~ 37, 2005.
- 十一元三 : アスペルガー障害とは. 精神認知とOT 2(2) ; 96 ~ 103, 2005.
- 十一元三 : 広汎性発達障害の認知機能. Schizophrenia Frontier 6 ; 194 ~ 198, 2005.
- 十一元三 : 少年事件・刑事事件と広汎性発達障害. そだちの科学 5 ; 89 ~ 95, 2005.
- 十一元三 : 自閉症の神経生理学的基盤. 児童青年精神医学とその近接領域 46 ; 486 ~ 489, 2005.
- 十一元三 : 精神科治療ガイドライン: アスペルガー症候群. 精神科治療学 20 (増刊号) ; 278 ~ 279, 2005.
- 十一元三 : 自閉性障害の治療. 日本精神科病院協会雑誌 24 ; 1110 ~ 1115, 2005.
- 十一元三 : 児童青年期の抑うつ状態への薬物療法. 臨床精神薬理 8 ; 1705 ~ 1712, 2005.
- 十一元三 : 臨床各科への誘い—精神科—. 臨床研修プラクティス 2 (8) ; 49 ~ 53, 2005.
- 十一元三 : 精神科ローテートで何をどこまで学ぶか. 臨床研修プラクティス 2(11) ; 6 ~ 7, 2005.
- 十一元三 : 精神疾患の大まかなイメージをつかむ. 臨床研修プラクティス 2(11) ; 8 ~ 9, 2005.
- 十一元三 : 大人にも多い児童精神科疾患 : 広汎性発達障害. 臨床研修プラクティス 2(11) ; 56 ~ 59, 2005.
- 十一元三 : 広汎性発達障害の認知特性. 脳と精神の医学 16 ; 169 ~ 173, 2005.
- 十一元三 : 神経学的報告からみた広汎性発達障害の特性. 外来精神医療 5 ; 30 ~ 33, 2005.
- 十一元三 : 広汎性発達障害の神経学的基盤—内側側頭葉と前頭前野を中心に. 現代のエスプリ 464 ; 67 ~ 77, 2006.
- 十一元三 : 広汎性発達障害の発達論的療育モデル—基本障害の捉え方の進展と「サーツモデル」. 精神療法 32 ; 28 ~ 34, 2006.
- 十一元三 : 広汎性発達障害における触法行動の問題発達障害医学の進歩 18 ; 69 ~ 77, 2006.
- 十一元三 : 児童—成人精神医療の連携にあたって. 精神科治療学 21 ; 406 ~ 408, 2006.
- 十一元三 : 児童精神医学からみた青少年の不適応の問題. LD 研究 15 ; 48 ~ 52, 2006.
- 十一元三 : 身近におこるトラブルと対応のヒント. 精神科的背景のある患者さん. 臨床研修プラクティス 3 ; 13 ~ 17, 2006.
- 十一元三 : 自閉症の成因論の動向と療育論の流れ. みんなのねがい 469 ; 12 ~ 15, 2006.
- 十一元三 : 広汎性発達障害と強迫関連現象. 強迫性障害の研究 7 ; 121 ~ 128, 2006.
- 十一元三 : アスペルガー障害と高次対人状況. こころの臨床アラカルト 25 ; 2006.
- 十一元三 : 自閉症の神経基盤と脳機能. 医学のあゆみ 217 ; 1002 ~ 1006, 2006.
- 十一元三 : 広汎性発達障害における強迫関連現象. 児童青年精神医学とその近接領域 47 ; 127 ~ 134, 2006.
- 十一元三 : 広汎性発達障害の臨床特性と模倣・感情・自己意識. 神経心理学 22 ; 162 ~ 169, 2006.
- 十一元三 : 司法領域における広汎性発達障害の問題. 家庭裁判月報 58 ; 1 ~ 42, 2006.
- 十一元三 : アスペルガー症候群: 神経生物学. 日本臨床 65 ; 432 ~ 436, 2007.
- 十一元三 : 自閉性障害・アスペルガー障害の見方に誤りはないか. 科学 77 ; 305 ~ 310, 2007.
- 十一元三 : 精神医療における広汎性発達障害. 外来精神医療 6 ; 63 ~ 65, 2007.
- 十一元三 : よくある症状 35 の鑑別診断チャート「抑うつ」. 臨床研修プラクティス 4 ; 78 ~ 79, 2007.
- 十一元三 : 広汎性発達障害と発達論的療育論. 現代思想 35 ; 190 ~ 195, 2007.

- 十一元三：広汎性発達障害と強迫関連現象。児童青年精神医学とその近接領域 48；2007（印刷中）
- Toyota T., Yoshitsugu K., Ebihara M., Yamada K., Ohba H., Fukasawa M., Minabe Y., Nakamura K., Sekine Y., Takei N., Suzuki K., Itokawa M., Meerabux J.M., Iwayama-Shigeno Y., Tomaru Y., Shimizu H., Hattori E., Mori M., Yoshikawa T.: Association between schizophrenia with ocular misalignment and polyalanine length variation in PMX2B. *Hum Mol Genet* 13; 551 ~ 561, 2004.
- 豊田佳子、杉山登志郎：広汎性発達障害者への対応における留意点。精神看護 8(4)；46 ~ 52, 2005.
- 辻井正次、行広隆次、安達 潤、市川宏伸、井上雅彦、内山登紀夫：日本自閉症協会広汎性発達障害評価尺度（PARS）幼児期尺度の信頼性・妥当性の検討。臨床精神医学 35；1119 ~ 1126, 2006.
- Tsuchiya K., Takagai S., Kawai M., Matsu-moto H., Nakamura K., Minabe Y., Mor N., Takei N.: Advanced paternal age associated with an elevated risk for schizophrenia in offspring in a Japanese population. *Schizophrenia Research* 76;337 ~ 342, 2005.
- 内田志保、杉山登志郎：高機能広汎性発達障害への支援。教育と医学 53(12)；22 ~ 31, 2005
- 海野千畝子、杉山登志郎、服部麻子、大河内 修、並木典子、河邊真千子、小石誠二、東 誠、浅井朋子、加藤明美：被虐待児童に対する集中アセスメント入院の試み。小児の精神と神経 46(2)；212 ~ 132, 2006.
- Yamada K., Nakamura K., Minabe Y., Iwayama-Shigeno Y., Takao H., Toyota T., Hattori E., Takei N., Sekine Y., Suzuki K., Iwata Y., Miyoshi K., Honda A., Baba K., Katayama T., Tohyama M., Mori N., Yoshikawa T.: Association analysis of FEZ1 variants with schizophrenia in Japanese. *Biol Psychiatry* 56;683 ~ 690, 2004.
- Yamada K., Ohnishi T., Hashimoto K., Ohba H., Iwayama-Shigeno Y., Toyoshima M., Okuno A., Takao H., Toyota T., Minabe Y., Nakamura K., Shimizu E., Itokawa M., Mori N., Iyo M., Yoshikawa T.: Identification of multiple serine racemase (SRR) mRNA isoforms and genetic analyses of SRR and DAO in schizophrenia and D-Serine levels. *Biological Psychiatry* 57;1493 ~ 1505, 2005.
- 山崎晃資：注意欠陥/多動性障害。精神医学 47(2)；169 ~ 172, 2005.
- 山崎晃資、成瀬 浩：注意欠陥/多動性障害への使用—メチルフェニデートの有用性と有害性について。精神医学 47(6)；601 ~ 604, 2005.
- 山崎晃資：なぜいま特別支援教育なのか。児童心理 臨時増刊 825；2 ~ 12, 2005.
- 山崎晃資：教員への「特別支援教育」研修。こころの科学 124；59 ~ 62, 2005.
- 山崎晃資、本郷誠司、品田正幸、煙石洋一、竹内知夫：単科精神科病院における高機能広汎性発達障害の治療。日精協誌 24(11)；1159 ~ 1163, 2005.
- 山崎晃資：特別支援教育に求められるもの—軽度発達障害の子どもたちとのかかわり—。精神療法 32(1)；4 ~ 9, 2006.
- 山崎晃資：子どもの心の専門家とは何か。教育と医学 54(3)；13 ~ 21, 2006.
- 山崎晃資：操作的診断基準の有用性と限界をめぐる今日的課題—児童精神医学の立場から—。精神医学 48(7)；717 ~ 719, 2006.
- 山崎晃資：少年事件と児童精神医学。公衆衛生 70(8)；588 ~ 591, 2006.
- 山崎晃資：発達障害の診かたと接し方。精神科 9(6)；493 ~ 499, 2006.
- 山崎晃資：メンタルヘルス教育の現状と今後の課題。精神科臨床サービス 7(1)；126 ~ 132, 2007.

2. 著書

- Hong K.M., Yamazaki K., Banaag C., Yangsong, D.: Systems of care in Asia. In: Facilitating Pathways - Care, Treatment and Prevention in Child and Adolescent Mental Health - (Eds.: Remschmidt H., Belfer M. L., Goodyer I.), Springer, Berlin · Heidelberg, pp.58 ~ 70, 2004.
- 市川宏伸：知りたいことがなんでもわかる、子どものこころのケア(市川宏伸、内山登紀夫、広沢郁子編)、永井書店、東京、2004.
- 市川宏伸：広汎性発達障害の子どもと医療、かもがわ出版、2004.
- 市川宏伸：子どもの心の病気がわかる本、講談社、2004.
- 市川宏伸：精神疾患、小児外来診療指針(東京都立清瀬病院編)、pp.630 ~ 655、永井書店、大阪、2004.
- 市川宏伸(編)：子どものための精神看護、医学書院、2005.
- 市川宏伸：発達障害児者の診断と医療ケアの問題。発達障害者支援法ガイドブック、河出書房新社、pp.57 ~ 63, 2005.
- 市川宏伸：行為障害。今知りたい異常心理入門(宝島文庫) pp.156 ~ 169, 2006.
- 市川宏伸：行為障害—子どもが持つ衝動的

- な攻撃性一. 別冊宝島 1251 ; 70 ~ 75、2006.
- 市川宏伸、上野一彦、姜 博久、高原孝恵 : 学校教育法の一部を改正する法律案についての公聴会、第 164 回国会衆議院文部科学委員会議録 19 号、pp.1 ~ 19、2006.
- 石井哲夫 : 自閉症児・者のトータルケアプランと地域の人たちとの支え合い. 自閉症スペクトラム児・者の理解と支援 (日本自閉症スペクトラム学会編)、教育出版、pp.134 ~ 142、2005.
- 石井哲夫 : 自閉症児の心を育てる 第 2 版、明石書店、2006.
- 石井哲夫 : 「気がかりな子」をどう理解するかー LD・AD/HD・高機能広汎性発達障害. 現代社会の中の発達障害、pp.167 ~ 171、2006.
- 加藤明美、箕浦双郁子、河邊眞千子、杉山登志郎 : アスペルガー症候群. 精神看護エクスペール 12 こどもの精神看護 (坂田三允 (総編集)), 中山書店、東京、pp. 109 ~ 118、2005.
- Kubota Y., Toichi M., Shimizu M., Mason R. A., Coconcea C.M., Findling R.L., Yamamoto K., Calabrese J.R.: Prefrontal activation during verbal fluency tests in schizophrenia: a near infrared spectroscopy(NIRS) study. Schizophrenia Research 77; 65 ~ 73, 2005.
- 中村和彦 : 成長・発達と影響因子(3) 脳波・身体などの検査. 精神看護エクスペール 12 こどもの精神看護 (坂田三允 (総編集)), 中山書店、pp.32 ~ 34、2005.
- 中村和彦 : こどものこころのアセスメントとケア (総論) (2)薬物療法、精神療法、生活・行動療法. 精神看護エクスペール 12 こどもの精神看護 (坂田三允 (総編集)), 中山書店、pp.73 ~ 81、2005.
- 太田昌孝 : 精神遅滞、(山内俊雄、小島卓也、倉知正佳編) 専門医をめざす人への精神医学 第 2 版、医学書院、pp.474 ~ 480、2004.
- 太田昌孝 : 自閉症障害 (自閉症). 精神科臨床ニューアプローチ 7 (上島国利 (編)), メディカルビュー社、pp.16 ~ 27、2005.
- 太田昌孝 : 自閉症障害 (自閉症). 精神看護エクスペール 12 こどもの精神看護 (坂田三允 (総編集)), 中山書店、東京、pp.90 ~ 98、2005.
- 太田昌孝 : 発達障害. メンタルヘルス辞典、同朋舎メディアプラン、pp.463 ~ 475、2005.
- Ohta, M., Kano, Y., Nagai, Y.: Catatonia in individuals with autism spectrum disorders in adolescence and early adulthood: A long-term prospective study. In: Catatonia in Autism Spectrum Disorders. Dhossche, D. M., Wing, L., Ohta, M., Neumarker, K.(Eds.), International Review of Neurobiology, Vol.72, Academic Press, Amsterdam, pp. 41 ~ 54, 2006.
- 太田昌孝 (編著) : 改訂版発達障害児の心と行動. 放送大学教育振興会、2006.
- 太田昌孝 (編著) : 発達障害. 日本評論社、2006.
- 太田昌孝 : 自閉症児の療育. 医師のための発達障害児・者診断治療ガイド、診断と治療社、pp.50 ~ 57、2006.
- 白瀧貞昭 : 教室の中の子どもたち、神戸市小学校長会編「続・変容する子どもたち」、pp.30 ~ 46、2004.
- 白瀧貞昭 : 早期発見・早期療育の必要性和そのポイント. 「児童心理」編集委員会編「気がかりな子」の理解と援助、金子書房、pp.39 ~ 43、2005.
- 白瀧貞昭 : 話し言葉と言語の特異的発達障害. 「精神科治療学」編集委員会編「新精神科治療ガイドライン」、星和書店、pp. 262 ~ 263、2005.
- 杉山登志郎 : アスペルガー症候群および高機能広汎性発達障害のための援助、降旗志郎 (編著) : 軽度発達障害児の理解と支援、金剛出版、pp.130 ~ 157、2004.
- 杉山登志郎 : コミュニケーション障害としての自閉症、高木隆郎・ハウリン P・フォンボン、E. (編)、自閉症と発達障害研究の進歩 第 8 巻、星和書店、pp.3 ~ 23、2004.
- 杉山登志郎 : 教師のための高機能広汎性発達障害・教育マニュアル、杉山登志郎・大河内 修・海野千畝子 (共著)、少年写真新聞社、2004.
- 杉山登志郎 : 発達障害の概念. 発達障害者支援法ガイドブック (発達障害者支援法ガイドブック編集委員会 (編)), 河出書房新書、東京、pp. 29 ~ 40、2005.
- 杉山登志郎 : 自閉症とは何か. よくわかる臨床発達心理学 (麻生 武・浜田寿美男 (編)), ミネルヴァ書房、京都、pp.114 ~ 119、2005.
- 杉山登志郎 : 自閉症を生きることの意味、そしてそれが問いかけるもの. よくわかる臨床発達心理学 (麻生 武・浜田寿美男 (編)), ミネルヴァ書房、京都、pp. 120 ~ 121、2005.
- 杉山登志郎 : アスペルガー症候群とは何か. よくわかる臨床発達心理学 (麻生 武・浜田寿美男 (編)), ミネルヴァ書房、京都、pp.122 ~ 123、2005.
- 杉山登志郎 : アスペルガー症候群を生きることの意味、そしてそれが問いかけるも

- の、よくわかる臨床発達心理学 (麻生武・浜田寿美男 (編))、ミネルヴァ書房、京都、pp.124 ~ 125、2005.
- 杉山登志郎、海野千畝子：虐待に関連するストレス障害とその治療. 小児虐待医学的対応マニュアル—医療現場で子どもを守るために— (桃井真理子編)、真興交易医書出版部、東京、pp.153 ~ 165、2006.
- 高橋 脩：発達障害児の親へのサポート. 心理療法における支持 (青木省三・塚本千秋 (編))、日本評論社、東京、pp.71 ~ 83、2005.
- 十一元三：自閉症とアスペルガー障害. 今日の治療指針 47 (山口 徹・北原光夫・相沢好治 (総編集))、医学書院、東京、pp.703 ~ 704、2005.
- 十一元三：高機能自閉症、アスペルガー症候群—医療—. 自閉症スペクトラムの医療・療育・教育 (若子理恵・土橋圭子 (編))、金芳堂、東京、pp.141 ~ 155、2005.
- 十一元三、腰原菊恵：統合失調症. 精神看護エクスペール 12 こどもの精神看護 (坂田三充 (総編集))、中山書店、東京、pp.183 ~ 193、2005.
- 十一元三：アスペルガー障害は反社会的行動への脆弱性を有するか. EBM 精神疾患の治療 (上島, 三村, 中込, 平島編) 2006 ~ 2007、pp.450 ~ 454、中外医学社、東京、2006.
- 十一元三：広汎性発達障害の理解の現在. 学術フロンティア推進事業プロジェクト研究シリーズ 14、pp.1 ~ 16、2006.
- 十一元三：広汎性発達障害の理解の現在. 高機能自閉症児およびアスペルガー症候群児の教育的対応と発達の可能性 (荒木穂積 (編))、立命館大学人間科学研究所、京都、pp.1~16、2006.
- 十一元三：広汎性発達障害の関与する事件の裁判と精神鑑定. 発達障害白書 2007 版: pp.44 ~ 46、2006
- 十一元三：精神発達遅滞、学習障害、広汎性発達障害. TEXT 精神医学 (加藤進昌、神庭重信 (編))、南山堂、東京、pp. 286 ~ 307、2007.
- 十一元三：アスペルガー障害. 神経生物学的背景. 精神医学的対話 (加藤進昌、神庭重信 (編))、弘文堂、東京、2007 (印刷中).
- Toichi M.: Episodic memory, semantic memory and self-consciousness in autism. In: Memory in Autism. Cambridge University Press, Cambridge (in press).
- 山崎晃資：児童精神科医の立場からみた青少年犯罪の諸問題、山崎晃資 (編著)：青少年犯罪 - その病理と社会 -、明治安田生命社会事業団、東京都、pp.1 ~ 26、2004.
- 山崎晃資：子育て不安の処方箋 - 親と子の「こころのトラブル」相談室 -、東海大学出版会、東京都、2004.
- 山崎晃資：思春期精神保健対策. 改訂第3版・精神保健福祉士養成セミナー・精神保健学、へるす出版、東京都、pp.119 ~ 129、2004.
- 山崎晃資：学校精神保健. 学校医の手引き、日本医師会、東京都、pp.78 ~ 84、2004.
- 山崎晃資：現代の児童青年精神科医療の課題と展望. 精神看護エクスペール 12 こどもの精神看護 (坂田三充 (総編集))、中山書店、東京、pp.11 ~ 18、2005.
- 山崎晃資：発達障害と子どもたち. 発達障害と子どもたち—アスペルガー症候群、自閉症、そしてボーダーラインチャイルド—、講談社、東京、2005.
- 山崎晃資：早く気づきたいこころの病. わかりやすい赤ちゃんとお子どもの家庭の医学 (片岡 正・山崎晃資 (編))、ナツメ社、東京、pp.267 ~ 295、2006.
- 山崎晃資：発達障害の概要. 新版 社会福祉士養成講座⑩ 心理学 第3版、pp.124 ~ 131、2007.

3. 学会発表

- 後藤美樹、有坂ふじみ、畔柳真理、吉野美代、山田佐登留、田中 哲、市川宏伸：思春期心理グループ (SST) 実践について. 第45回日本児童青年精神医学会、名古屋市、2004年11月5日.
- 平野亜紀、清水康夫、本田秀夫、今井美保、日戸由刈、五十嵐まゆ子：包括的コミュニティ・ケアの視点からみた高機能発達障害の早期介入 - 新たなニーズに対応したコミュニティ指向型プログラム群の開発 -. 第14回日本乳幼児医学心理学会、大阪市、2004年11月6日.
- 堀江まゆみ、深井敏行、藤間英之、金子陽子：知的障害児・者の社会的トラブルに関する研究 I. 日本特殊教育学会第43回大会自主シンポジウム、2005年9月.
- 堀江まゆみ、名川 勝、佐藤彰一、鈴木康仁：発達障害者の消費生活トラブル—その実態と法的・生活支援者—. 日本発達障害学会第41回研究大会自主シンポジウム、2005年6月.
- 堀江まゆみ：青年期の軽度発達障害者支援と危機対応. シンポジウム「ライフスキル」をいかに育てるか. 日本LD学会第15回大会報告集 (北海道大学)、2006年11月.
- 市川宏伸：CPT を用いた注意欠陥多動性障

- 害の検討. 第34回日本臨床神経生理学
会、東京都、2004年11月1日.
- 石橋悦子、富田真紀子、神保育子、北川
裕、石井哲夫：青年期軽度発達障害への
支援. 第46回日本児童青年精神医学会、
神戸市、2005年11月.
- 石井哲夫：自閉症児者への社会福祉援助に
おける臨床心理学的実践. 第23回心理臨
床学会、心理臨床ワークショップ.
- 石井哲夫：受容的交流理論の現状(記念講
演). 自閉症の人と共生するためには—自
閉症の重篤さを語る—. 日本自閉症スペ
クトラム学会第5回研究大会、東京都、
2006年8月19日.
- 金生由紀子、太田昌孝：トゥレット症候群
における攻撃性の研究. 第34回日本神経
薬理学会、都市センターホテル、東京都、
2004年7月21-23日.
- Kano Y., Ohta M. & Nagai Y.: Aggression in
adolescents with Tourette Syndrome. 16th
World Congress of the International Asso-
ciation for Child and Adolescent Psychiatry
and Allied Professions, International Con-
gress Centrum, Berlin, Germany, 2004年8
月22～26日.
- 金生由紀子、太田昌孝、新井 卓、永井洋
子：怒り発作からみた“高機能”発達障
害における攻撃性(第2報). 第45回日
本児童青年精神医学会総会、名古屋国際
会議場、名古屋市、2004年11月3～5
日.
- 河村雄一、高橋 脩：自閉性障害の臨床像
「折れ線現象」および「てんかんの合併」
について. 第45回日本児童青年精神医学
会総会、名古屋市、2004年11月4日.
- 河村雄一、神谷真巳、高橋 脩：自閉性障
害の乳児期からの支援—3ヵ月健診事後
グループでの取り組み. 第46回日本児童
青年精神医学会総会、神戸市、2005年
10月18～20日.
- 黒田知沙、白瀧貞昭、村上凡子：高機能広
汎性発達障害における自己理解と孤独感
の特性. 第45回日本児童青年精神医学
会総会、名古屋市、2004年11月5日.
- 熊上 崇、藤川洋子、阿漕直樹、須藤 明、
石川正人、十一元三：広汎性発達障害を
持つ非行事例の特徴. 第45回日本児童
青年精神医学会総会、名古屋市、2004年
11月5日.
- 溝口理知子、福田 理、岡田和子、高橋
脩：総合通園センター歯科における初診
患児の10年間の実態調査. 第23回日本
障害者歯科学会総会、仙台市、2006年
10月22日.
- 永井洋子、太田昌孝：シンポジウム—学校
精神保健の課題—中学生のこころと教育
のあり方—. 第46回日本児童青年精神医
学会(神戸)、2005年11月9～11日.
日本児童青年精神医学とその近接領域
47; 242～249、2006.
- Nakamoto Y., Nakamura K., Minabe Y., Mo-
ri N., Furukawa A., Yamada K., Yoshikawa
T., Mugishima, G., Sato M., Niwa M., Yo-
shii M.: Gender and age differences in asso-
ciations between peripheral type benzodia-
zepine receptor (PBR) gene polymorphism
and anxiety trait in normal human subjects:
Society for Neuroscience 34th Annual Mee-
ting Neuroscience, San Diego, USA, 2004
年10月.
- 中村和彦、関根吉統、尾内康臣、辻井正次、
吉川悦次、杉山登志郎、土屋賢治、鈴木
勝昭、三辺義雄、武井教使、森 則夫：
アスペルガー症候群における脳内セロト
ニン・トランスポーター密度に対するP
ETを用いた研究. 第14回日本臨床精神
神経薬理学会、神戸市、2004年9月.
- 中村和彦、関根吉統、土屋賢治、鈴木勝昭、
三辺義雄、武井教使、森 則夫、尾内康
臣、辻井正次、吉川悦次、杉山登志郎：
脳内セロトニン系の異常からみたアスペ
ルガー障害の病態発生に関する臨床研
究. 第37回精神神経系薬物治療研究報
告会、大阪府、2004年12月.
- Nakamura K., Anitha A., Yamada K., Iwaya-
ma Y., Hattori E., Tsujii M., Sekine Y.,
Tsuchiya K., et al.: Genetic and expression
analyses of Syntaxin 1A (STX1A) in auti-
sm. 4th Congress of Asian Society for Chi-
ld and Adolescent Psychiatry and Allied
Professions, Manila, Philippines, 2006年6
月.
- Nakamura K., Anitha A., Yamada K., Iwaya-
ma Y., Hattori E., Tsujii M., Sekine Y.,
Tsuchiya K., et al.: Genetic and expression
analyses of Syntaxin 1A (STX1A) in auti-
sm. 17th World Congress of the Internatio-
nal Association for Child and Adolescent
Psychiatry and Allied Professions, Melbou-
rne, Australia, 2006年9月.
- Ohta M., Kano Y. & Nagai Y.: Catatonia in
adolescents and young adults with autism
spectrum disorders: A long-term follow up.
16th World Congress of the International
Association for Child and Adolescent Psy-
chiatry and Allied Professions, International
Congress Centrum, Berlin, Germany, 2004
年8月22～26日.
- 太田昌孝、金生由紀子：自閉症圏障害青年
におけるトゥレット症候群とカタトニ
ア. 第11回トゥレット研究会、名古屋
大学教育学部、名古屋市、2004年11月
3～5日.
- 太田昌孝、杉山登志郎：シンポジウム—司

- 会の言葉. 青年期軽度発達障害児者への支援を考える. 第46回日本児童青年精神医学会(神戸), 2005年11月9~11日. 日本児童青年精神医学とその近接領域 47; 250~252, 2006.
- 岡田和子, 溝口理知子, 福田 理, 高橋 脩: 発達障害児における仕上げみがきへの母親の取り組み態度. 第21回日本障害者歯科学会総会, 大阪市, 2004年11月13日.
- 岡田 俊, 十一元三, 崎濱盛三: 高機能自閉症とアスペルガー障害における精神作業負荷時の自律神経活動. 第45回日本児童青年精神医学会総会, 名古屋市, 2004年11月4日.
- 崎濱盛三, 岡田 俊, 十一元三: 非行事例の鑑別における児童精神科医の関与の必要性 - 広汎性発達障害が疑われた事例の調査をもとに -. 第45回日本児童青年精神医学会総会, 名古屋市, 2004年11月5日.
- 染木志緒, 白木沢史子, 市川宏伸: ADHD児の自尊心に関する調査. 第45回日本児童青年精神医学会, 名古屋市, 2004年11月3日.
- Suzuki K., Nakamura K., Shinohe A., Watanabe T., Mori N.: Altered expression of mRNA for VLDLR and ApoER2 in lymphocytes from patients with schizophrenia and major depression. Society for Neuroscience 34th Annual Meeting Neuroscience, San Diego, USA, 2004年10月.
- 白瀧貞昭: LD, ADHD, 高機能広汎性発達障害の特別支援教育をめぐって. 発達障害療育研究会シンポジウム, 東京, 2004年1月24日.
- 白瀧貞昭: 発達障害の理解と対応. 兵庫県教育心理研究会, 神戸, 2004年7月3日.
- Shirataki S., Kuroda C., Murakami B.: Self-understanding and self-isolation in Adolescents with high-functioning pervasive developmental disorders (HFPDD). 16thth World Congress of the International Association for Child and Adolescent Psychiatry and Allied Professions, Berlin, Germany, 2004年8月22~26日.
- 白瀧貞昭: 発達障害児への特別支援教育を考える. 日本応用心理学会, 神戸, 2004年10月16日.
- 白瀧貞昭: 広汎性発達障害について. 日本障害者乗馬協会研究会, 明石, 2004年11月3日.
- 高橋 脩: 自閉症の臨床 - その支援と楽しさ - (特別講演). 第45回中国四国精神神経学会総会, 倉敷市, 2004年10月29日.
- 高橋 脩: 障害児の発達支援と家族支援 - 現状と展望 - (特別講演). 第45回児童青年精神医学会, 名古屋市, 2004年11月4日.
- 高橋 脩: 日本における自閉症の診断と評価. 四川大学附属華西第二病院, 中華人民共和国四川省成都市, 2005年9月16日.
- 高橋 脩: 自閉症の最新研究. 聖愛特殊教育培訓中心, 中華人民共和国四川省成都市, 2005年9月17日.
- 高橋 脩: 発達障害の児童精神科臨床. 第46回日本児童青年精神医学会総会, 神戸市, 2005年11月9日.
- 高橋 脩: ひとりひとりにあった『支援・連携・展望』 - 発達・福祉・家庭・医療・教育の場から - (シンポジウム). 第10回日本育療学会学術集会, 名古屋市, 2006年8月27日.
- 十一元三, 岡田 俊: 語の性質による前頭前野の記銘処理の変化. 第6回日本ヒト脳機能マッピング学会, 東京都, 2004年.
- 十一元三: 若年性双極性障害の躁病相における前頭前野機能の変化. 第45回日本児童青年精神医学会総会, 名古屋市, 2004年11月4日.
- 十一元三, 岡田 俊, 崎濱盛三: 高機能自閉症における前頭前野の記銘処理. 第45回日本児童青年精神医学会総会, 名古屋市, 2004年11月5日.
- 十一元三, 岡田 俊, 崎濱盛三: 司法事例を通じて見出される広汎性発達障害の特異的病理. 第45回日本児童青年精神医学会総会, 名古屋市, 2004年11月5日.
- 山田佐登留, 尾崎純子, 大倉勇史, 白木沢史子, 菅野実穂, 鈴木俊介, 蓮舎寛子, 広沢郁子, 佐藤泰三, 田中 哲, 海老島宏, 市川宏伸: 梅ヶ丘病院の退院時診断と入院時診断の変更症例についての検討. 第45回日本児童青年精神医学会, 名古屋市, 2004年11月4日.
- 山崎晃資: シンポジウム「健康教育実践者としての養護教諭 - 21世紀を輝いて生きる子どもを育てていくためには -」, 児童精神医学の立場から. 全国養護教諭連絡協議会第10回研究協議会, 東京都, 2005年2月25日.

Ⅱ. 研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

(1)

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
石井哲夫	LD・AD/HD・自閉症・アスペルガー症候群「気がかりな子」の理解と援助	真仁田 昭	「気がかりな子」をどう理解するか—LD・AD/HD・高機能広汎性発達障害	金子書房	東京	2005年	1～8
杉山登志郎	問題行動の克服と青年期の社会性の獲得のために 青年就労者座談会あとがき	杉山登志郎	アスペルガー症候群と高機能自閉症 青年期の社会性のために	学習研究社	東京	2005年	6～ 41 182～192 194～196
杉山登志郎	アスペルガー症候群および高機能広汎性発達障害のための援助	降旗 志郎	軽度発達障害児の理解と支援	金剛出版	東京	2004年	130～157
杉山登志郎	コミュニケーション障害としての自閉症	高木 隆郎 パトリシア・ハウリン エリック・フォンボン	自閉症と発達障害の進歩 2004Vol. 8	星和書店	東京	2004年	3～23
杉山登志郎	教師のための高機能広汎性発達障害・教育マニュアル	杉山登志郎 大河内 修 海野千畝子	教師のための高機能広汎性発達障害・教育マニュアル	少年写真新聞社	東京	2004年	
太田昌孝	精神遅滞	山内俊雄、 小島卓也、 倉知正佳編	専門医をめざす人への精神医学	医学書院	東京	2004年	474-480
市川宏伸	広汎性発達障害の子どもと医療	市川宏伸	広汎性発達障害の子どもと医療	かもがわ出版	京都	2004年	
白瀧貞昭	早期発見・早期療育の必要性とそのポイント	「児童心理」編集委員会	「気がかりな子」の理解と援助	金子書房	東京	2004年	39-43
山崎晃資 石橋昭良 藤川洋子 神谷信行 池田克史	児童精神科医の立場から見た青少年犯罪の諸問題	財団法人明治安田こころの健康財団	青少年犯罪—その病理と社会—	財団法人明治安田こころの健康財団	東京	2004年	1-26
山崎晃資	子育て不安の処方箋—親と子の「こころのトラブル」—	山崎晃資	子育て不安の処方箋—親と子の「こころのトラブル」	東海教育研究所	東京	2004年	

			—				
--	--	--	---	--	--	--	--

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
K. Michael Hong, Kosuke Yamazaki, Cornelio G. Banaag Du Yasong	Systems of Care in Asia	Remschmidt, H., Belfer, M.L., Goodyer. I.	Facilitating Pathways-Care, Treatment and Adolescent Mental Health	Springer	Berlin, Heidelberg	2004年	58-70

研究成果の刊行に関する一覧表

(書籍)

(2)

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	頁
D. M. Dhossc he, L. Wing, M. Ohta, Neymarke	Catatonia in Autism Spectrum Disorders	D. M. Dhossc he, L. Win g, M. Ohta, Neymarke	International Review of Neurobiology Vol. 72	ACADEMIC PRESS		2006	
片岡 正、 <u>山崎晃資</u>	早く気づきたい ころの病	片岡 正、 <u>山崎晃資</u>	わかりやすい赤ちゃんと子どもの家庭の医学	ナツメ社	東京	2006	267-295
加藤明美、 <u>箕浦双郁子</u> 、 <u>河邊眞千子</u> 、 <u>杉山登志郎</u>	アスペルガー症候群	萱間真美、 <u>櫻庭 繁</u> 、 <u>根本英行</u> 、 <u>松本正明</u> 、 <u>山根 寛</u> 、 <u>牛島定信</u> 、 <u>山崎晃資</u>	こどもの精神看護	中山書店	東京	2005	109-118
萱間真美、 <u>櫻庭 繁</u> 、 <u>根本英行</u> 、 <u>松本正明</u> 、 <u>山根 寛</u> 、 <u>牛島定信</u> 、 <u>山崎晃資</u>	現代の児童青年精神科医療の課題と展望	坂田三允	精神看護エクスペール 12	中山書店	東京	2005	11-18
<u>太田昌孝</u>	自閉症障害 (自閉症)	上島国利	精神科臨床ニューアプローチ 7	メディカルビュー社	東京	2005	16-27
<u>太田昌孝</u>	自閉症障害 (自閉症)	坂田三允	精神看護エクスペール 1 2	中山書店	東京	2005	90-98
<u>太田昌孝</u>	発達障害		メンタルヘルス辞典	同朋舎メディアプラン		2005	463-475
<u>白瀧貞昭</u>	早期発見・早期治療の必要性とそのポイント	「児童心理」編集委員会	LD・ADHD・自閉症・アスペルガー症候群「気がかりな子」の理解と援助	金子書房	東京		39-43
<u>杉山登志郎</u>	自閉症とはなにか、自閉症を生きることの意味、そしてそれが問いかけるもの、アスペルガー症候群とは何か、アスペルガー症候群を生きることの意味	麻生 武、 <u>浜田寿美男</u>	よくわかる臨床発達心理学	ミネルヴァ書房	京都	2005	114-125
<u>杉山登志郎</u>	発達障害の概念	発達障害者支援法ガイドブック編集委員会	発達障害者支援法ガイドブック	河出書房新書	東京	2005	29-40

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	頁
高橋 脩	発達障害児の親へのサポート	青木省三、塚本千秋	心理療法における支持	日本評論社	東京	2005	71-83
片岡 正、 山崎晃資	早く気づきたい こころの病	片岡 正、 山崎晃資	わかりやすい赤 ちゃんと子ども の家庭の医学	ナツメ社	東京	2006	267-295
山崎晃資	発達障害と子ども たち	山崎晃資	「発達障害と子ども たち アスペルガー症候群、 自閉症、そしてボ ーダーラインチ ャイルド」	講談社	東京	2005	

研究成果の刊行に関する一覧表

(書籍)

(3)

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	頁
石井哲夫	自閉症児の心を育てる	石井哲夫	自閉症児の心を育てる(第2版)	明石書店	東京	2006	
太田昌孝	発達障害とはなにか	太田昌孝	改訂版 発達障害児の心と行動	放送大学教育振興会	東京	2006	11-24 115-130
D. Dhossche L Wing M. Ohta K. Neumarker (eds)	Catatonia in Individuals with Autism Spectrum Disorders in Adolescence and Early Adulthood	D. Dhossche L Wing M. Ohta K. Neumarker (eds)	International Review of Neurobiology Vol 72	Academic Press, Amsterdam		2006	42-55
太田昌孝			自閉症児の療育				
太田昌孝	発達障害をどうとらえるか	太田昌孝	こころの科学セッション 発達障害	日本評論社	東京	2006	1-18
杉山登志郎	<解説> RDI 自閉症治療の新たな地平へ	スティーブ ンE. ガット スティン	RDI 対人間関係発達指導法	クリエイツかもがわ	京都	2006	13-21
杉山登志郎 海野千畝子	虐待に関連するストレス障害とその治療	桃井真理子	小児虐待医学的対応マニュアル -医療現場で子どもを守るために-	真興交易(株)医書出版部	東京	2006	153-165

研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

(1)

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
杉山登志郎	高機能広汎性発達障害にみられるさまざまな精神医学的問題に関する臨床的研究	日本乳幼児医学・心理学研究	12(5)	11-25	2004
小石誠二 杉山登志郎	アスペルガー症候群の依存症と鑑別診断	精神科	5(1)	19-24	2004
杉山登志郎	自閉症・アスペルガー症候群	精神障害の臨床	特別号131	203-204	2004
浅井朋子 杉山登志郎	不登校	小児科臨床	57増刊号	287-293	2004
浅井朋子 杉山登志郎 小石誠二 東 誠 並木典子 海野千畝子	軽度発達障害が同朋に及ぼす影響	児童青年精神医学とその近接領域	45(4)	360-371	2004
並木典子 杉山登志郎	広汎性発達障害スクリーニング	小児科	45(11)	1980-1988	2004
遠藤太郎 杉山登志郎	自閉症とアスペルガー障害(1)	臨床脳波	46(8)	526-531	2004
遠藤太郎 杉山登志郎	自閉症とアスペルガー障害(2)	臨床脳波	46(9)	590-595	2004
杉山登志郎 河邊眞千子	高機能広汎性発達障害青年の適応を決める要因	精神科治療学	19(9)	1093-1100	2004
杉山登志郎	高機能自閉症とアスペルガー症候群 軽度発達障害によって変わる教育・福祉・医療	実践障害教育	374 (8月号)	2-9	2004
杉山登志郎	自閉症文化に沿った自閉症スペクトラムへの教育	発達の遅れと教育	558	10-13	2004
杉山登志郎	境界線知能	そだちの科学	3	31-35	2004
杉山登志郎 海野千畝子	医療機関における再統合に向けた援助	母子保健情報	50	165-168	2004
Ohta M, Kano Y	Clinical characteristics of adult patients with tics and/or Tourette's syndrome	Brain & Development	25 Suppl.1	32-36	2003
太田昌孝 金生由紀 永井洋子	思春期青年期の自閉症障害を持つ個人におけるカタトニアの症状―主として長期経過について	東京学芸大学特殊教育研究施設研究報告	3	81-88	2004

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Kano Y, Ohta M, Nagai Y, Pauls DL, Leckman JF	Obsessive-compulsive symptoms in parents of Tourette syndrome probands and autism spectrum disorder	Psychiatry Clin Neurosci	58	348-352	2004
是枝喜代治 小林芳文 太田昌孝	自閉症児の運動模倣能力の特性	発達障害研究	25(4)	265-280	2004
太田昌孝	自閉症圏障害の発達精神病理と表象機能	小児の精神と神経	44(4)	337-347	2004
立松英子 太田昌孝	知的障害の重い子どもの行動特徴—自閉症障害の合併及びシンボル機能の観点から—	小児の精神と神経	44(4)	373-381	2004
高橋 脩	アスペルガー症候群・高機能自閉症:思春期以降における問題行動と対応	精神治療医学	19(9)	1077-1083	2004
高橋 脩	地域療育システムにおける自閉症の診断と説明	発達障害研究	26(3)	153-163	2004
高橋 脩	地域の療育力を考える	あおぞら2003		56-78	2004
高橋 脩	自閉症の臨床:その支援と楽しさ	第45回中国四国精神神経学会総会特別講演抄録			
河村雄一 高橋 脩	自閉症障害の臨床像「折れ線現象」および「てんかんの合併」について	第45回児童青年精神医学会総会抄録集		133	2004
高橋 脩	障害児の発達支援と家族支援～現状と展望～	第45回児童青年精神医学会総会抄録集		103	2004
岡田和子 溝口理知子 高橋 脩	発達障害児における仕上げみがきへの母親の取り組み態度	障害者歯科	25(3)	467	2004
中村和彦	発達障害の生物学的精神医学への誘い(4)	アスペハート	6	82-84	2004
中村和彦	発達障害の生物学的精神医学への誘い(5)	アスペハート	7	93-95	2004
中村和彦	発達障害の生物学的精神医学への誘い(6)	アスペハート	9	88-90	2005
十一元三	高機能自閉症とアスペルガー障害	障害者問題研究	32(2)	90-98	2004
十一元三	アスペルガー障害の神経科学的基盤	精神科	5(1)	6-11	2004

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
十一元三	青年期以降の高機能広汎性発達障害	精神科臨床サービス	4(3)	332-338	2004
十一元三	広汎性発達障害を持つ少年の鑑別・鑑定と司法処遇—精神科疾患概念の歴史的概観と現状の問題点を踏まえ—	児童青年精神医学とその近接領域	45(3)	236-245	2004
十一元三	アスペルガー障害と社会的行動上の問題	精神科治療学	19(9)	1109-1114	2004
十一元三	広汎性発達障害における薬物療法	精神科治療学	19(10)	1173-1178	2004
十一元三	特集にあたって—近年の成果を混乱する現場へ—	こころの臨床アラカルト	23(3)	241-243	2004
十一元三	自閉症論の変遷—この60年をふり返って—	こころの臨床アラカルト	23(3)	261-265	2004
十一元三 Prizant BM WetherbyAM Rubin E Laurent AC	近年の発達論的療育アプローチ—サーツモデル—	こころの臨床アラカルト	23(3)	317-320	2004
十一元三	脳血行動態からみた高機能自閉症の前頭前野機能	脳と精神の医学	15(3)	361-369	2004
市川宏伸	高機能広汎性発達障害の現在	臨床精神医学	33(4)	421-427	2004
蓮舎寛子 広沢郁子 市川宏伸	広汎性発達障害の発作様不安	精神科治療学	19(8)	985-990	2004
白瀧貞昭	乳幼児の発達、[特集]自閉症理解の現在—より進んだ地平を求めて	こころの臨床アラカルト	23(3)	273-276	2004
山崎晃資	注意欠陥/多動性障害 [特集]時代による精神疾患の病像変化	医学書院	47(2)	169-172	2004
Honda H, Simizu Y, Imai M, Nitto Y	Cumulative incidence of childhood autism: a total population study of better accuracy and precision	Developmental Medicine & Child Neurology	47(1)	10-8	2005

研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

(2)

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
浅井朋子	高機能自閉症・アスペルガー症候群－歴史・概念・頻度－	精神科	7 (6)	483-489	2005
浅井朋子、 杉山登志郎、 小石誠二、 東 誠、 遠藤太郎、 大河内 修、 海野千畝子、 並木典子、 河邊真千子、 服部麻子	高機能広汎性発達障害の母子例への対応	小児の精神と神経	45 (4) 別冊	353-362	2005
浅井朋子、 杉山登志郎、 小石誠二、 東 誠、 並木典子、 海野千畝子	軽度発達障害児が同胞に及ぼす影響の検討	児童青年精神医学とその近接領域	45 (4)	360-371	2004
浅井朋子	小児とその親への対応 発達障害児を診るときのポイントー自閉症を中心にー	JOHNS	21 (10)	1455-1459	2005
橋本創一、 小池敏英、 藤野 博、 松尾直博、 出口利定、 太田昌孝、 渡邊健治、 上野一彦	特別支援教育における教師研修・教師支援と教員養成に関する研究	東京学芸大学紀要第1部門教育科学に関する研究	(56)	377-388	2005
日戸由刈、 清水康夫、 本田秀夫、 萬木はるか、 片山知哉	アスペルガー症候群のCOSSTプログラムー破綻予防と適応促進のコミュニティ・ケアー	臨床精神医学	34 (9)	1207-1216	2005
Hideo Honda, Yasuo Shimizu, Michael Rutter	No effect MMR withdrawal on the incidence of autism:a total population study	CHILD PSYCHOLOGY AND OSYCHIATRY46	(6)	572-579	2005
Hideo Honda, Yasuo Shimizu, Miho Imai, Yukari Nitto	Cumulative incidence of childhood autism: a total population study of better accuracy and precision	Developmental Medicine & Child Neurology	47	10-18	2005
市川宏伸	児童青年精神科における発達障害の診療	日精協誌	24 (11)	58-62	2005
加藤進昌、 杉山登志郎、 市川宏伸、 青木省三、 十一元三、 小林隆児	アスペルガー症候群をめぐってー症例を中心にー	臨床精神医学	34 (9) 別冊	1103-1116	2005
加藤進昌、 杉山登志郎、	アスペルガー症候群をめぐってー症例を中心にー	臨床精神医学	34 (9) 別冊	1103-1116	2005

市川宏伸、 青木省三、 十一元三、 小林隆児					
荻原はるみ、 高橋 脩	自閉症の幼児期における発達・知能指数の推移	児童青年精神医学とその近接領域	46(4)	439-448	2005
太田昌孝	運動機能の特異的発達障害	新精神科治療ガイドライン	20(増刊号)	266-267	2005
太田昌孝	アスペルガー症候群	日本医師会雑誌	134(9)	1756-1757	2005
蓮舎寛子、 市川宏伸	児童青年期における双極性障害	精神科治療学	20(11)別冊	1121-1126	2005
清水康夫、 岩佐光章	LD・ADHD・高機能自閉症等の子への支援	児童心理臨時増刊	825	131-138	2005
白瀧貞昭	話し言葉と言語の特異的発達障害	精神科治療学	20(増刊号)	262-263	2005
杉山登志郎、 海野千敏子、 河邊真千子	子ども虐待への包括的治療-3つの側面からのケアとサポート-	児童青年精神医学とその近接領域	46(3)	296-306	2005
杉山登志郎	自閉症臨床から	小児の精神と神経	45(4)別冊	313-321	2005
杉山登志郎	発達障害臨床の育児支援-あいち小児センター心療科での取り組み-	乳幼児医学・心理学研究	13(1)	19-28	2004
杉山登志郎	てんかんを併存し激しい行動障害を呈したADHDの1症例	臨床精神薬理	8(6)	911-914	2005
杉山登志郎	学童期における心と脳の発達	そだちの科学	4	6-13	2005
杉山登志郎	アスペルガー症候群の現在	そだちの科学	5	9-21	2005
杉山登志郎	ひきこもりと高機能広汎性発達障害	こころの科学	123	36-43	2005

杉山登志郎	発達障害と統合失調症	こころの科学	120	29-35	2005
高橋 脩	障害児の発達支援と家族支援:現状と展望	児童青年精神医学とその近接領域	46(5)	473-477	2005
高橋 脩	乳幼児健診と発達障害-最近の動向	こころの科学	124	18-21	2005
高橋 脩	アスペルガー症候群の早期診断と対応	そだちの科学	5	22-28	2005
高橋 脩	軽度発達障害の理解と支援-医療・療育の立場から	地域と臨床	14	2-6	2005
立松栄子、 太田昌孝	知的障害養護学校での発達評価における簡易指標の意義の検討-自閉症様の行動障害との関連で-	学校教育学研究論文	12	17-27	2005
豊田佳子、 杉山登志郎	広汎性発達障害者への対応における留意点	精神看護	8(4)	46-52	2005
内田志保、 杉山登志郎	高機能広汎性発達障害への支援	教育と医学	53(12)	22-31	2005
山崎晃資	なぜいま特別支援教育なのか	児童心理臨時増刊	825	2-12	2005
山崎晃資	子どもの心の専門家とは何か	教育と医学	54(3)	13-21	2006
山崎晃資、 成瀬 浩	注意欠陥/多動性障害への使用-メチルフェニデートの有用性と有害性について	精神医学	47(6)	601-604	2005